

【第9回全日本ブラインドセーリング選手権】

レース公示 (NOR)

01. 主催：NPO法人日本視覚障害者セーリング協会 (JBSA)
公認：日本セーリング連盟 H22-19
後援：福島県・いわき市
小名浜マリーナ株式会社
協力：玄株式会社 ・ 株式会社マーシー
協賛：いわきサンマリーナ
小名浜オーシャンホテル&ゴルフクラブ
児玉工業株式会社
02. 大会 会長：安達文洋 (JBSA)
実行委員長：児玉源寿 (JBSA)
レース委員長：橋本洋一 (JBSA)
レース委員：松原宏之 (NRO)
プロテスト委員長：北村勝彦 [JBSA・National Judge・(NJ)]
プロテスト委員：周東英卿 (三浦外洋セーリングクラブ・NJ)
プロテスト委員：佐藤百一 (神奈川県セーリング連盟・NJ)
03. 開催期日：2010年9月25日(土)～26日(日)
04. 開催場所：福島県いわき市「いわきサンマリーナ」
05. 日程：
9月25日(土) 10:30 受付開始 そのまま開会式、艇長会議
11:45 最初のレース予告信号時刻
当日は4レースを予定している。
但し、レースの予告信号は15:50を
最終時刻とし、それ以降はレースを行わ
ない。
18:30 ウェルカムパーティー・懇親会
於「いわきサンマリーナ」 中庭

9月26日(日) 08:30 最初のレース予告信号時刻
当日は3レースを予定している。
但し、レースの予告信号は14:25を
最終時刻とし、それ以降はレースを行わ
ない。
15:00 表彰式・閉会式
於「いわきサンマリーナ」 中庭

06. 適用規則

セーリング競技規則2009~2012(以下RRSと言う)に定義された規則を適用する。

07. 帆走指示書

帆走指示書は2010年9月1日にJBSAのホームページに掲載する。
尚、各チームの代表者には、別途メールにて送信する。

08. 参加資格

- 1) 2010年度JSAF会員及びレース委員長が参加を認めた者。
- 2) 2010年度NPO法人日本視覚障害者セーリング協会の会員であること。
- 3) 視覚障害者は身体障害者手帳を有すること。
- 4) サイテッドスキッパー、又は乗員が小型船舶免許を有すること。
- 5) 海外からレースに参加する者はBlind Sailing International(BSI)の加盟団体の会員であること。
- 6) レースに参加する者は自己の責任において傷害保険に加入していること。

09. シリーズ・レース

- 1) 本シリーズレースは7レースを予定し、2レースの完了を以って成立とする。
- 2) 各レースは、単一クラスによるフリートレースとし、コースはソーセージ・コース2ラップとする。

- 3) エントリーしたチーム数が主催者の準備した艇数を超えた場合には、予選・決勝方式を採用することがある。

10. レース艇

- 1) レース艇は主催者が貸与するヤマハフェスタ24を使用する。
- 2) レース艇は、艇長会議の際に抽選を行い各チームに割り当てられる。各チームは、原則として、同じ艇を2日間使用しない。

11. セール

レース委員長が指定するジブセール及びメインセール以外は使用してはならない。

12. チームの構成・乗員の役割(ポジション)

- 1) 各チームは4名で構成し、内容は次の通り。
視覚障害者2名：ヘルムスパーソンおよびメインシート・トリマー
晴眼者2名：スキッパー およびジブシート・トリマー
- 2) 乗員の変更は原則として認められない。
但し、メインシート・トリマーとジブシート・トリマーについては、止むを得ない場合に限って、レース委員長の許可を得て変更することができる。
- 3) スキッパーは、レース中は他の乗員に対して助言はできるが、手伝うことは一切できない。
但し、衝突等の危険を避ける場合には、あるいは、乗員・艇の安全を確保する場合には、あらゆる手段を講じなければならない。
- 4) 晴眼者は、メインシート・トリマーが取り扱うロープの整理を手伝うことができる。

13. 得点方法

RRS-A2による低得点方式とする。
但し、5レース以上成立した場合には、一番悪い得点を除いた合計得点とする。{但しの部分は付則A2を変更する}

14. 賞 - 1位~3位のチーム(全員)に賞を授与する

15. 参加申込手続

1) 所定の参加申込書を用いて電子メールで申し込むこと。

注. 所定の参加申込書はホームページから入手することができる。

<http://www.jbsa.jp/>

2) 申込先: 事務局 瀬川 紀之 marine@spa.nifty.com

3) 参加料: 20,000円 (チーム)

4) 申込期限: 2010年8月10日 (火)

16. 大会の中止

本大会はエントリーが3チーム以下の場合には中止する

その場合にはエントリー・フィーは返却される。

17. 責任の所在

1) レースに参加するか、継続するか、その決定の責任は各艇のみにある。

2) 大会の前後および期間中に発生した乗員および艇に関わる事故については、その責任は各チームが負うものとし、本大会の主催・後援・協賛等の諸団体は、如何なる責任も負わない。

3) 各チームは、主催者より貸与された艇、備品等については、善良な管理者として義務を負うものとし、艇の損傷に因る修理等については、その責任は各チームにある。

4) 安全 ライフジャケットの着用

乗員は、艇がバースを離れてから帰港してバースに着くまでは、ライフジャケットを着用しなければならない。

18. 照会先

本レース公示に関する照会は、実行委員長宛てに電子メールにて行うこと。

実行員長: 児玉 源寿 genju@kodama-eng.com

以 上